

堺の健康みんなで耕すseries

生きるを支えあう地域をつくる

耳原総合病院 教育学習運営会議 × HPH運営会議



宝楽陸寛さん



近藤克則先生



当日は、長年にわたり高齢者の社会参加と健康の関係を研究され、堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクトに参画されている近藤克則先生と、高校1年生からまちづくりに携わり、NPOや市民活動のコーディネーターとして活躍されている宝楽陸寛さんをお招きし、それぞれの立場から「地域と健康」について講演いただきました。

近藤先生からは、地域のつながりが心身の健康に与える影響や、住民同士が支え合う仕組みが介護予防や認知症予防につながるという研究成果

が紹介されました。つどう、笑う、歩く、ボランティア活動が健康長寿のまちをつくると「みみつけ」の活用に期待を述べられました。

また、宝楽さんからは、若者から高齢者までが関わり合いながら地域の課題を解決していく実践例を交え、「誰もが役割を持つ地域づくり」の大切さをお話しいただきました。

11月14日(金)に、地域コミュニティ棟みみつけで「生きるを支えあう地域をつくる」を開催し、職員や地域住民など72人が参加、「健康なまちづくりのために職員と地域が一体となって取り組めるることは何か」を一緒に考えました。

みみプラザキックオフイベント

誰かと一緒にご飯を食べることも
健康づくりにつながるそうです



「研修医育成」に皆さまの声、を

右のQRコードからアンケートへのご協力を
お願いします。
(耳原総合病院
研修委員会)



秋山愛夏
(耳原総合病院)
い時間となりました。これからも、みなさまと共に「生きるを支えあう地域」をつくるための活動を続けてまいります。

地域の未来と一緒に考える今回の取り組みは、当院にとつても学びの多



辰巳議員に署名を手渡す河原林
院長(右から2人目)と川畑事務長
(右端)

「医療・介護の多
感想が寄せられました。
地域の未来と一緒に考
える今回の取り組みは、
当院にとつても学びの多

日の直後。面談で
きた国會議員に
「医療・介護の多

タインシングとし
ては、高市首相が
「医療・介護など
公定価格の引き上
げを行う」と表明
する答弁があつた

医連の要請行動と
問、議員本人の面
談29人となり、民
間の要請行動と
して過去最多にな
りました。

医連の要請行動と
して過去最多にな
りました。

は、全国の民医連
病院がいっせいに
取り組み、全体で
は200件の訪

は、全国の民医連
連が開始した、オール地
域で医療を守る「たたか
い」は、医師会をはじめ、他の医療団体も医療
の窮状を意見表明するな
ど、政府も動かす大きな
流れになっています。

事業と経営の危機は
「必要な医療・介護を受
ける、国民の権利の危
機」であると民医連は呼
びかけています。人権と
しての社会保障が削られ
ないよう、実現を目指し

必要な医療・ 介護を国民に

人権としての社会保障が削られないよう、財政支援の実現を

「医療介護の経営が大変な状況にある。地域医療をまもるために財政支援を」——この声を国会議員に届けるため、11月7日、大阪民医連4病院の病院長、看護部長、事務長がそろって上京し、国會議員会館での請願行動に取り組みました。



（耳原総合病院事務長
川畑 望）